

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

戸田工業株式会社 大竹事業所

(2) 事業所の所在地

広島県大竹市明治新開1-4

(3) 業種

無機顔料製造業 1622

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、令和5(2023)年度から令和8(2026)年度までの4年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和8年度 (2026)	令和5年度 (2023)	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂	25,688	10,955 57.4	4,532 82.4	100.0	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂	0	0.0 #DIV/0!	290 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン	5.1	5 2.0	25 (384.3)	100.0	100.0	100.0	100.0
一酸化二窒素	1.8	2 (11.1)	7 (272.2)	100.0	100.0	100.0	100.0
その他 温室効果ガス	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	25,695	10,962 57.3	4,853 81.1	100.0	100.0	100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	CO ₂ フリーの電力メニューに切り替えたため、エネルギー起源CO ₂ 排出量を大きく下げることができ、2023年度は良好となりました。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

売上額(G¥/年)

*2021年度から会計の売上基準が変更されたが、当面比較のため旧基準とする。

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和8年度 (2026)	令和5年度 (2023)	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂	2,586.9	1,914.3 26.0	582 77.5	100.0	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂	0	0 0.0	37 #DIV/0!	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン	0.5	0.5 0.0	3 -534.4	100.0	100.0	100.0	100.0
一酸化二窒素	0.2	0.2 0.0	1 -330.2	100.0	100.0	100.0	100.0
その他 温室効果ガス	0	0 0.0	0 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	2,587.6	1915 26.0	623 75.9	100.0	100.0	100.0	100.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)	989	861 13.0	880.7 11.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績に対する 自己評価	CO ₂ フリーの電力メニューに切り替えたため、エネルギー起源CO ₂ 排出量を大きく下げることができ、2023年度は良好となりました。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	燃料原単位の改善	LPG・灯油の原単位を年1%改善	生産性向上 蒸気漏れの防止 蒸気トラップの改良 熱交換器の洗浄 熱設備の保温強化 廃熱の有効利用
2	電気原単位の改善	使用電力原単位を年1%改善	生産性向上 待機電力の低減 圧縮エアの漏れ防止 空調設定温度の見直し 冬季空調設備の運転方法適正化 建屋屋根散水による冷却
3	非化石エネルギーへの 転換	約8,400 t-CO ₂ 削減	非化石化エネルギー比率の高い電力メ ニューへの転換
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	廃棄物埋立量の削減	ゼロエミッションの継続	リサイクル率アップ 廃棄物の発生抑制活動
2	社会奉仕活動		毎月の事業所周辺(2号線)清掃活動
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。